小規模多機能型居宅介護

ナイスディニ階町

利用のご案内



一般財団法人 津山慈風会

1. 基本理念

<津山慈風会理念>

私たち津山慈風会は、地域の皆さんにやさしく寄り添います

<行動規制>

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者様満足 利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護

を提供します。

2. 地域満足 それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に

貢献します。

3. 職員満足 高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理ので

きる介護のプロとして研鑚とチャレンジを惜しみません。

2. 「ナイスデイニ階町」の概要

運営主体	一般財団法人 津山慈風会 岡山県津山市川崎 1756		
施設名	小規模多機能型居宅介護 『ナイスデイニ階町』		
介護保険の指定	小規模多機能型居宅介護事業所		
利用方式	月払い方式		
利用条件	要支援、要介護		
介護の職員体制	利用者3人に介護者1名以上		
設置場所(住所)	津山市二階町 23番地3		
開設年月日	平成21年5月1日		
敷地面積	985.43 m²		
延床面積	420 ㎡、建物全体 2,581 ㎡		
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造了階建、1~2階		
登録定員	25 人、(通いサービス定員 15 人、宿泊サービス定員 9 人)		
宿泊室面積	10.4 m²		
宿泊室・設備	宿泊室、食堂兼機能訓練室、相談室、一般浴室、特浴室、個浴室、医務室		
	兼静養室、車椅子用トイレ等		
居室内設備	介護用ベッド、洗面化粧台、収納、エアコン、カーテン、ナースコール、		
	照明器具		

3. ご利用条件

原則として、以下の条件を全て満たしていることとします。

- (1) 要支援、要介護認定を受けていること。
- (2) 健康保険に加入されていること。
- (3) 行動が他の利用者の生活・健康に重大な影響を及ぼさないこと。
- (4) 他者に感染する恐れのある感染症に感染していないこと。
- (5) 身元引受人(保証人) 1名が必要です。
- (6) 当施設の運営規程、締結する諸契約に同意いただける方。
- (注) 病気療養の内容によっては、お断りさせていただく場合もあります。

4. サービスの内容(一部有料サービスがあります)

(1) 通いサービス 食事、入浴、機能訓練、レクレーション、健康チェック、

送迎等の援助を行います。

(2) 訪問サービス ご自宅に伺い、必要に応じた日常生活上の世話や機能訓練を提

供します。

(3) 宿泊サービス 当施設に宿泊していただき、日常生活上の世話を提供します。

(4) 利用者や家族の個人情報を保護します。

5. 医療への協力

当事業所では、各ご利用者の主治医との連携を基本としつつ、健康相談を行うとともに、 入居者の健康診断病状の急変等に備えて次ぎの医療機関等を協力施設として連携体制を 整備しています。

またの内科循環器科	所在地:津山市新職人町18
クリニック	TEL:0868-22-4758
津山中央クリニック	所在地:津山市二階町65
	TEL:0868-22-6113
津山中央記念病院	所在地:津山市二階町71
	TEL:0868-22-6111
津山中央病院	所在地:津山市川崎1756
	TEL:0868-21-8111
津山中央健康管理センター	所在地:津山市川崎1756
	TEL:0868-21-8111

6. 利用料について

利用料は、1か月単位の定額制です。サービス費用の1割を負担することになります。

1か月あたりの費用の目安

	要介護度	介護保険費用 (単位数×10円)	自己負担 (左記の一割)
介護予防サービス	要支援1 要支援2	34,380円 69,480円	3,438円 6,948円
	要介護1	104,230円	10,423円
	要介護2	153,180円	15,318円
介護サービス	要介護3 要介護4	222,830円 245,930円	22,283円 24,593円
	要介護5	271,170円	27,117円

※1単位=10円で計算 一定以上の所得のある方は自己負担額が「1割」から「2割」又は「3割」に変更されます。



各種加算

「初期加算/1日あたり」、「認知症加算/1か月あたり」

「サービス提供体制加算/1 か月あたり」、

「介護職員処遇改善加算/1か月あたり」「総合マネジメント体制強化加算/1か月あたり」



食 費

朝食:420円 昼食:630円 夕食:730円 おやつ:100円

宿泊費

宿泊:3,300円

日常生活費 おむつ代 理美容代 など

その他実費 おむつ 1 枚 110円など

各種加算(自己負担額)

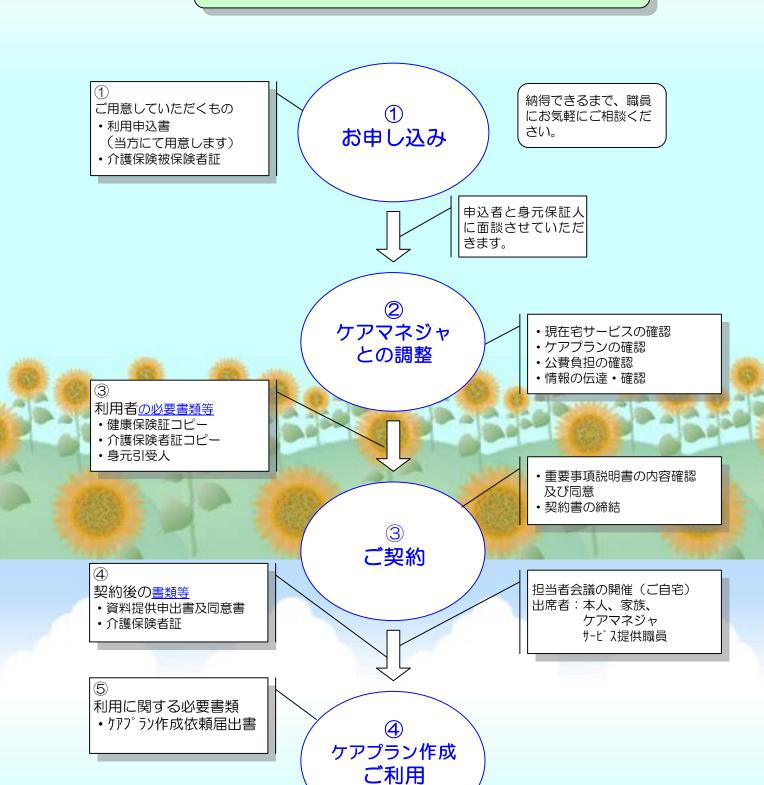
初期加算:30円/日(30日間のみ)、認知症加算:500円~800円/月

サービス提供体制加算: 750円/月、介護職員処遇改善加算: 総単位数×7.4%/月

総合マネジメント体制強化加算: 1,000円/月

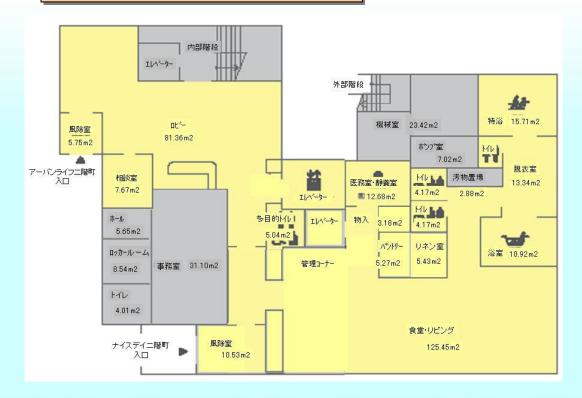
7. ご利用までの手続きの流れ

ご利用までの手続きの流れ



8. 館内案内図

1階:デイルーム・食堂・リビング



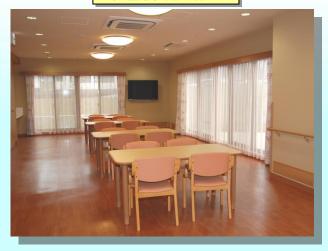


9. 施設案内

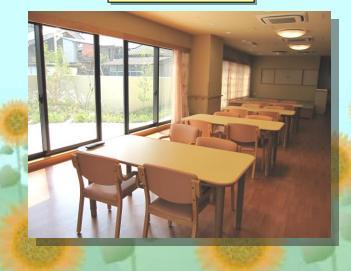
エントランス



食堂兼機能訓練室



食堂兼機能訓練室



食堂兼機能訓練室



機能訓練室(畳コーナー)



宿泊室





めない

「思い」や「願い」を大切にします 可能な限り在宅で暮らすことを支えます

自宅に24時間・365日の 安心を届けます



介護の「困った!」にお応えします 「通い」「宿泊」「訪問」を使って柔軟に支える~

地域のみんなで考えます

その

「思い」ゃ 「願い」を 大切にします 可能な限り在宅で暮らすことを支えます~

誰もが年をとっても介護が必要になっても、住み慣れた自宅や地域の中で家族や親しい 人たちとともに、最期までその人らしい人生を送りたいと望んでいます。

小規模多機能型居宅介護は、そうした在宅での生活を送り続けたいという高齢者や家族 の願いに応えます。

○したいの実現

生活の継続性



この願いを実現するために

「小規模多機能型居宅介護」

平成18年4月に介護保険の 地域密着型サービスのひとつとして制度化されました。

持っている力の活用

- 買い物に行ける
- 畑で野菜づくり ● 若い人に料理を教える
- お客さんにお茶を入れる
- 着たい洋服を選ぶ







- 行きつけの美容院に髪を切りに行く
- ご近所の○○さんちへ遊びにいく
- 大好きな盆栽の手入れをする









\$ 10 m

○○したいの実現

● 友達と将棋をしたい

家族と旅行したい

お刺身が食べたい

● 晩酌前に風呂に入りたい

● 孫と遊びたい

- 食事や排泄、入浴ができなくなって困る
- 家族:体がぼろぼろ、もう少し楽をしたい 本人:家族に迷惑をかけたくない
- トイレ、食事、外出など、できないことの手助け けがをしないような見守り

介護の安心

人ひとりに合った支援をしていくには、お年寄りの本当の思いや望みをくみ取ることが大切だと考 えています。一人ひとりに寄り添い、時間をかけて丁寧に支援していきます。介護が必要になっても、 安心できる環境の中で、これまで築き上げてきた家族や地域社会との関係を断ち切ることなく暮らし 続けることを大切にします。

その

自宅に24時間・365日の安心を届けます





多機能





小規模多機能型居宅介護は、施設の在宅版のようなサービスです。施設の居室を自宅と捉え、廊下は道。施設 の職員が居室にお邪魔するように自宅に訪問したり、日中のつどいの場として食堂へ集まるように事業所 に通います。「通い」や「宿泊」「訪問」といったあらゆる機能を使って、自宅での生活を支えていきます。

「通い」を中心に、ご本人の様態や希望に応じて、「宿泊」「訪問」といったサービスを 組み合わせて、「自宅で継続して生活するために」必要な支援をしていきます。

○「通い」で顔なじみになった職員が「宿泊」や「訪問」の際にも対応します。 ○環境の変化に敏感なお年寄り(特に、認知症の方)の不安を和らげることができます。

だから

ご家族も安心して ご利用いただけます。

AL THE

ご本人やご家族の些細な変化に 気づくことができます。

状況を把握している職員が対応 するので、いざというとき 心強い味方です。



その人らしい「生き方」「暮らし方」の実現



温泉に入れた! . いい人生 だったなあ… 心配し に温泉 らし」を支えるということは、24時間・365日、切れ目のない支援を「安心」とともに届けるということです。

の人らしい暮らし」を実現するためには、お年寄りのことを良く知っている家族やご近所さん、友人の方などと 者に、地域の中で、継続的な支援を考えていきます。

52 AC

その

一緒にあなたらしい暮らしを

「困った!」にお応えします 介護の

いろんな困ったに対して小規模多機能型居宅介護では、「通い」「宿泊」「訪問」を使って柔軟に支えます。

小規模多機能型居宅介護における 「通い」「宿泊」「訪問」

小規模多機能型居宅介護では、「通い」「宿泊」「訪問」と いった各サービスの内容は細かく定められてはいません。 一人ひとりの暮らしが異なるように、支援の内容も異なり

ます。 現在の制度では、「通い」を中心に生活を支える仕組みに なっています。生活や暮らし全体を通しての流れの中で 困っていることは何か、自宅での暮らしを成り立たせるた めに必要なことは何かを見橋め、柔軟に支援していきます。

小規模多機能型

居宅介護事業所

◆生活支援
◆身体介護(食事、排泄、入浴など)
◆見守り
◆相談
◆家族や地域とのつなぎ役

一人ひとりの思いやこれまでの 生活スタイルに合わせた支援や 時間の過ごし方。

■日常生活支援(身体介護、生活介助など) ┃仲間づくりの場として ┃いろいろな人と交わる場として

通い

自宅での生活を継続するために・・

介護が必要になる前は

どんな暮らしをしていましたか?

!生きがいづくりの場として

例えば、朝から夕方まで滞在するのではなく、 その人が必要としているお風呂だけ、食事だけ といったほんの数時間の利用という使い方も あります。

通いが基本

自宅

⊞

田 0

· 私が主人公 の暮らし

家族や本人の変化に気づき、その場で対応

0 娘さんかないだが 5x, 2 気になるか 具合が悪 家に行れ たなも 栏. 横みみてみよう ですから

自宅での過ごし方と落差がないように。

「適い」を利用している方が、これからも家で 生活することを重点におき、なるべく自宅で の過ごし方と落差がないように支援していき ます。その時々の様態に合わせて緊急時にも 対応します。

たとえば、・・・ 家族が病気になったとき・・・すぐに利用できる

回数も支援する内容もひとそれぞれ...。

「通い」だけでは支えきれない時間帯やさまざ まな支援を、その延長線上として、その人の 「暮らしぶり」に合わせて支援していきます

誰かがかならす そこにいる安心の

たとえば・・・ 夜中に「おじいちゃんがベッドから落ちた!」 電話―本でかけつけます!

しひとりに合わせて時間も曜日も -ダーメイド オーダーメイド 必要なこと、必要な時間に利用できる 緊急時にも臨機応変に対応 「デイサービス (通所介護)」

・施設の利用時間に合わせて ・あらかじめ決まっているプログラムに 合わせて みんなと同じ**一**日の過ごし方 流れがひとつのパッケージになっている。

似ているようで違う小規模多機能型居宅介護のサービス 「宿泊」 ・本当に必要な時には利用できる ・通い慣れた場所で宿泊可能 ・額なじみの職員や利用者と共に泊まれる ・突然の泊まりに対応

「ショートステイ (短期入所生活介護)」 ・事前に利用したい日を予約して利用 ・利用したい日が空いていないと他の施設 を予約し、日程変更が必要。 ・本人や介護者の状況の変化に対応しにくい

「訪問」 回数も時間も内容も一人ひとり異なる ・必要なときに必要なだけサービスが受け られる ・緊急時にも柔軟に対応

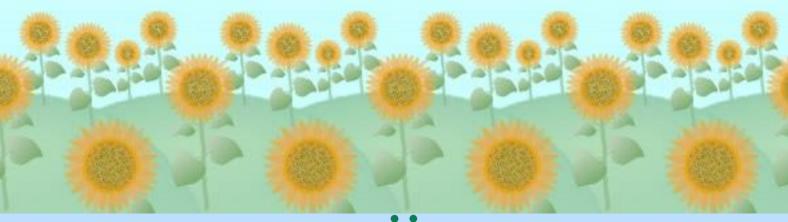
「ホームヘルブ (訪問介護)」 ・30分未満や時間など、サービスの枠に合わせた利用時間 ・規定のサービス枠に合わせた支援内容 ・ケアマネジャーの決めた通り



<u>これからの地域は、一人ひとりが主人公です。みんなで助け合い支えあっていきましょう</u>

<u>メモ</u>







一般財団法人 津山慈風会 岡山県 津山市 川崎 1756 0868 - 21 - 8111

ナイスデイ 二階町 岡山県 津山市 二階町 23-3 0868 - 35 - 2001

*見学および利用の体験は随時行っています。